PCT



(法第8条、法施行規則第40、41条) [PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人

の書類記号 IS-W004	40596P	及び下記5を参照すること。					
国際出願番号 PCT/JP2004/00	9002	国際出願日	25.	06.	2004	優先日 (日.月.年) 11.07.2003	
出願人(氏名又は名称) 株式会社イシダ							
国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条(PCT18条)の規定に従い出願人に送付する。 この写しは国際事務局にも送付される。							
この国際調査報告は、全部で2 ページである。							
□ この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。							
1. 国際調査報告の基礎 a. 言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。 「」 この国際調査機関に提出された国際出願の翻訳文に基づき国際調査を行った。							
b. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでいる(第 I 欄参照)。							
2. □ 請求の範囲の一部の調査ができない(第Ⅱ欄参照)。							
3. □ 発明の単一性が欠如している(第Ⅲ欄参照)。							
4. 発明の名称は	× 出願人	が提出した。	ものを承	:認する	00		
	□ 次に示	ですように国際	祭調査機	関が作	成した。		
	<u></u>						
5. 要約は	区 出願人	、が提出した。	ものを承	認する	0		
	国際課	のでいる。 のでは、 のでである。 のでである。 のでである。 のでである。 のでである。 のでである。 のでである。 のでである。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき	戊した。	出願人	、は、この国	第47条 (PCT規則38.2(b)) の規定により 国際調査報告の発送の日から1カ月以内にこ なる。	
6. 図面に関して a. 要約書とともに公表される図は、 第1 図とする。 区 出願人が示したとおりである。							
	出	顏人は図を示	さなかっ	ったの	で、国際調	査機関が選択した。	
·	一本	図は発明の特	徴を一層	事よく 著	表している。	ので、国際調査機関が選択した。	
b 要約とともに公表される図はない。							
·							

今後の手続きについては、様式PCT/ISA/220

様式PCT/ISA/210 (第1ページ) (2004年1月)

A. 発明の属する分野の分類(国際特許分類(IPC))

Int.Cl' A 2 3 G 3 / 0 2, A 2 3 L 1 / 1 8, A 2 3 L 1 / 2 1 7, A 2 3 L 1 / 2 2

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料(国際特許分類(IPC))

Int. Cl' A 2 3 G 3 / 0 0 \sim 3 / 2 8, A 2 3 L 1 / 1 8 \sim 1 / 2 2, 1 / 3 3 7, A 2 3 P 1 / 0 0

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
A	JP 53-18750 A (ユニチカ株式会社) 1978.02.21 (ファミリーなし)	1 – 8
A	JP 1-120251 A (大石 正一) 1989.05.12 (ファミリーなし)	1 – 8
A	JP 38-20287 B1(ビッグ・ドラム・インコーポレーテッド)1963.10.02 (ファミリーなし)	1-8

□ C欄の続きにも文献が列挙されている。

□ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

- 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す もの
- 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表されたもの
- 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 文献(理由を付す)
- 「〇」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
- 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

- 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって 出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論 の理解のために引用するもの
- 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
- 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに よって進歩性がないと考えられるもの
- 「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

22.09.2004

国際調査報告の発送日 12.10.2004

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官(権限のある職員) 鈴木 恵理子 4N 8114

電話番号 03-3581-1101 内線 3448

*式PCT/ISA/210 (第2ページ) (2004年1月)

BEST AVAILABLE COP